

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者の急変や事故発生時のマニュアルが周知できてない。救命救急訓練の実践が身についてない。	職員がマニュアルを周知し実践できる。応急手当や初期対応の訓練を定期的に行うことで、焦らずに対応でき実践に活かせる。	マニュアルの見直し、職員に説明するとともに各ユニット見えるところに掲示する。看護師による救命救急訓練や初期対応等の勉強会を定期的に行っていく。全員が参加できるようにする。	12ヶ月
2	35	職員がお世話型の介護になってしまい、利用者の持っている能力を活かせてない。利用者の能力や望む暮らしについてアセスメントと情報共有不足。	利用者の能力、望む暮らしをアセスメントし情報共有することで、その人に合った自立支援をしていく。	日々の関わりの中からできることできないこと等をアセスメントし、会議で話し合いケアプランに反映させる。利用者の担当職員が意識して関わり気付きや提案をあげていけるようにする。	12ヶ月
3	48	コロナ禍の下、地域との交流はどうしても限定的になってしまっている。	コロナ等の感染症対策は怠ることなく、地域との交流が促進され、その人なりの社会参加が実現できる。	制限下ではあり実現は難しいが、買い物やイベントなどを通じて地域の方々や子どもなどとの交流ができるような工夫を取り巻く情勢を見極めながら実施していけるように会議などで議論を重ねていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。